

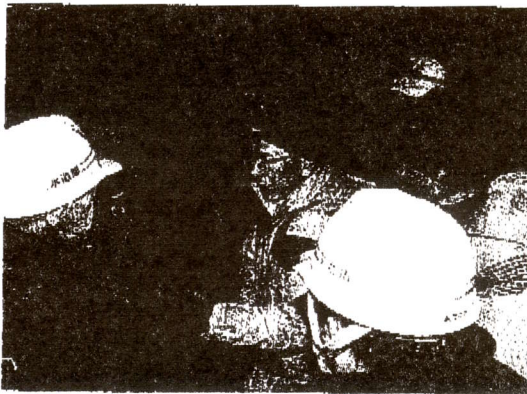
1月23日 朝日新聞 南朝刊

住民抗議、市が作業断念

宇治の開浄水場休止問題

宇治市開浄水場を巡るこの日の作業を断念し、市と住民との間で、昨年6月にも同様た住民が取り囲み、一な休止が存続が対立しての展開となり、市は作業を断念している。21日深夜、市は21日深夜、21日午後11時45分ごろ、約10台の軽ワゴン車に乗った市職員約30人が、浄水場付近の公園に集まり、住民約100人が集まって抗議し、市はが、浄水場付近の公園に「遊ばせ」を断じた。

作業に必要な、浄水場周辺の水道管の検査は住民が取り囲んでおり、住民側は「作業が可能か見てほしい」と申し出た。市側も応じ、一回りした後で小西吉治水道部長が「作業すると住民の方とあつれきがある可能性がある」と話し、市側は22日午前0時半ごろに引き揚げた。住民側は午前3時まで警戒を続け、解散した。



開浄水場近くの公園に集合した市水道部の職員（ヘルメット姿）に詰め寄る住民ら＝宇治市開町で